



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary



「楽しい例会、楽しく食事、健康な毎日」で奉仕の実践」 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：イアンH.S.ライズリー 2800地区ガバナー：鈴木 一作 ガバナー補佐：鈴木 政康
会長：伊勢 和正 幹事：石山 祐介 会報・史料委員会 委員長：間木野仁美
委員：金田 亮一 谷池 正弘 鉄 浩二 鈴木 崇弘

RI会長メッセージ



「ロータリー：変化をもたらす ～ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE ～」

2017-18年度国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー 氏

数年前、知り合った人からある質問をされました：「ロータリーとは何ですか？」
シンプルであるはずのこの質問に答えようと口を開きかけたところで、思わず止まってしまいました。どこから説明してよいか分からなかったのです。ロータリーとは何かを、私が知らなかったわけではありません。問題は、ロータリーがあまりに大きく、複雑すぎて、簡単に説明できないことでした。

ロータリーとは、会員制の団体、クラブを基盤とした団体、奉仕を行う団体であり、町ごと、地域ごと、そして全世界で活動する団体です。その会員は、地域社会のメンバー、事業人、職業人であり、現役で仕事をする人もいれば、定年退職した人もいます。そして、世界のほぼすべての国で活動しています。120万人の会員一人ひとりが、独自の目標と優先を掲げ、一味違った経験をしています。一人ひとりが、ロータリーを独自の解釈で理解しているのです。

私にとってロータリーとは、「どのような団体か」ではなく、「何をしているか」で定義されます。すなわち、ロータリーが私たちに与えてくれる可能性、そして、その可能性を有意義かつ持続可能な奉仕によって実現する方法によって、定義されるのです。

ロータリーには、112年の豊かな歴史があります。この間にロータリーは、徐々に成長し、成熟し、会員と地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら、ある意味で大きく変わりました。しかし、その根底にあるものは同じです。それは、地域社会と世界に変化を生みだしたいという願い、そして、ロータリーを通じてそれを実現できるようになった人が集まった組織だということです。

「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは行動をもって答えます。奉仕を通じて変化をもたらすことによって。

組織として、私たちは、ロータリーとは何か、何をするのかを世界に理解してもらうことが、いかに重要であるかを認識しています。同時に、各クラブがロータリー奉仕を独自に定義することが、かつてないほど重要であると自覚しています。ロータリアンである私たちは、これまでよりも柔軟に、クラブの例会、活動、発展の方法を決定でき、また、もっと多くの女性や多様な会員を迎え入れて、地域社会の特色をクラブに映し出すことに力を注いでいます。長期の計画、持続可能な奉仕、全レベルでのリーダーシップの継続性を重視することで、ロータリーが世界有数のボランティア組織であり続けるよう努力しています。

2017-18年度、「ロータリーとは何ですか？」という問いに、私たちは「ロータリー：変化をもたらす」というテーマで答えます。それぞれどのような方法で奉仕することを選んだとしても、その理由は、奉仕を通じて人びとの人生に変化をもたらせると信じているからです。新しい遊び場や学校をつくる、医療や衛生設備を改善する、紛争仲裁者や助産師を研修するなど、私たちはその活動が、人数が多かるうが少なかるうが、誰かの人生をより良くしているのだと知っています。ロータリー入会のきっかけが何であれ、私たちがロータリーにとどまり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからです。この充実感は、毎週、毎年、「変化をもたらす」ロータリーの一員であることから湧き出てくるものなのです。

Ian Riezy

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東



地区目標

「美しい心、ロータリアンの矜持 ～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」

国際ロータリー第2800地区
2017-18年度ガバナー

鈴木 一作氏

2017-18年RI会長イアンライズリー氏の説明は、「ロータリーの意義ある活動は、世界に対して、地域に対して、クラブに対して、そしてロータリアンに対して変化をもたらす」というものでした。それらの「変化をもたらす」ための方策として、全クラブにRI会長賞をとって欲しいという要請がありました。その上で、世界に変化をもたらす一環として、「会員が一人一本の木を植える」運動が提唱されました。

国際協議会の最終日に、イアン・ライズリー氏は、「ロータリーを学びましょう。親しみ睦み合いましょう。熱い情熱を胸に、皆で奉仕に取り組みましょう。そして、平和を目指しましょう。そこに、大きな感動を共有し合えるのです」という主旨の話を、涙ぐみながら力強く語りました。その情熱的で感動的なスピーチの要約を、(私自身の思いも込めた)簡潔な日本語で言い換えたものが、上記の地区目標です。

ロータリーが「世界に対して、地域に対して、クラブに対して、そしてロータリアンに対して変化をもたらす」ような意義ある活動を行なうためには、我々ロータリアンが「美しい心、ロータリアンとしての矜持を持った仲間同士である」ことが、何よりも大切だと思います。



私自身の思い……というのは、以下の内容です。

- ①修養 (ロータリアンとしての自己研鑽・高潔性・利己と利他の調和・資質向上、Guy Gundakerの思い)、
- ②友情 (結縁、尊縁、随縁、親睦、寛容、共生、敬愛)、
- ③情熱 (誠実で熱く純粋な情熱は、人を動かし、事態を動かす)、
- ④奉仕 (ロータリアンは修養に努めながら、友情と情熱と愛に満ちた奉仕を实践する)、
- ⑤平和 (世の中の安心・安全・平和、皆の幸福に寄与する立派なロータリアンたらん)、
- ⑥感動 (ロータリアンだからこそその達成感、充実感、満足感、そして感謝の心)
こそロータリーの真骨頂であり、**ロータリアンの美しい心、矜持の源泉**と言えるのではないのでしょうか？

(「修養」というのは少し古めかしくて堅苦しい言葉ですが、「知識を高め、品性を磨き、自己の人格形成に努める」という意味であり、我々ロータリアンに相応しい言葉だと思います。)